

KENWOOD

MP3/WMA/AAC/WAV対応CDレシーバー

U525

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	10

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Basic Operation	12
共通操作	12
ミュージックディスクや オーディオファイルを聴く	14
ラジオを聴く	16

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Music Disc & Audio File Listening	17
ディスク/フォルダ/タイトルサーチ	17
スキャンプレイ	17
ドライブセレクト	17
リピートプレイ	18
ランダムプレイ	18
オールランダムプレイ	18
マガジンランダムプレイ	19
iPodブラウズ項目選択	19
タイトル/テキストスクロール	19
ファイルセレクト1	20
ファイルセレクト2	21

Radio Listening	22
オートメモリー	22
マニュアルメモリー	22
チューニングモード	23

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Audio Control	24
オーディオコントロールの詳細設定	24
オーディオセットアップ	25
サブウーファー出力コントロール	25

Display Control	26
ディスプレイ表示切り替え	26
操作パネルの取り外し	27
操作パネルの取り付け	27

Menu Control	28
メニュー設定	28
時刻合わせ	29
AUXネームセレクト	30

TV Control	31
チャンネル選択	31
バンド/ビデオ切り替え	31
プリセットチューニング	31
マニュアルメモリー	31
音声多重切り替え	31

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? Audio file	32
オーディオファイル	32
Help? Troubleshooting	33
共通	33
ミュージックディスク	33
オーディオファイル	33
Help? Term	34
共通	34
オーディオコントロール	34
MENU	35
Help? Error	37

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い

Basic Operation

Music Disc & Audio File Listening

Radio Listening

Audio Control

Display Control

Menu Control

TV Control

Help?

取り付け時のご注意
接続
iPodの接続
取り付け

取り付け時のご注意	38
接続	40
iPodの接続	42
取り付け	43

保証とアフターサービス	44
仕様一覧	46

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。

このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

ボリュームノブを動かす

ボリュームノブの操作を下の図で表します。



上へ



下へ



左へ



右へ



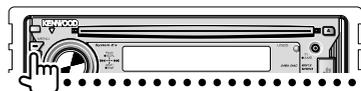
ボリュームノブを回す

- ▼ : 次の段に続きます。
- : ここで終わります。

AUXネームセレクト

切り替えたときに表示される名前 (AUXネーム) を設定します。

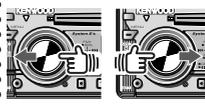
1 メニューモードにします



2 ネームプリセットの項目を選択します



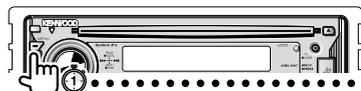
3 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

- 表示
- AUX/AUX EXT
- DVD
- PORTABLE
- GAME
- VIDEO
- TV

4 AUXネーム選択を終了します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

短く押す

 で示したキーまたはノブを押す。

ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。

表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

1秒以上押す

 で示したキーまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。

動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでキーを押し続けることを表しています。左記の例では1秒間押すことを示しています。記載された数字を目安にしてください。

その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

AppleおよびiPodは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

WindowsおよびWindows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is trademark of Dolby Laboratories.

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

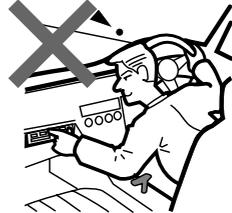
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSBデバイスの接続・取り出しなど）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



実施

USBデバイスとUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

修製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

USBデバイスのご使用上の注意

USBデバイスを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USBデバイスが変形や故障する場合があります。

●
本機で使用するオーディオファイルはバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。

●
本製品にUSBデバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できるUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p32)を参照してください。

●
USBケーブルには付属のもの、またはCA-U1EX(別売品)を使用してください。USB規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が5m以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

U525に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

●
"O-Nスイッチ"の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

●
接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●
別売品のCD/MDスイッチングユニット"KCA-S220A"を使用すると、ディスクチェンジャーやLX-BUS接続のユニットを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p40)および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

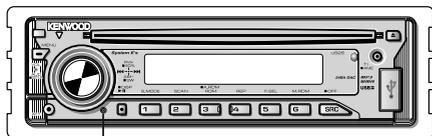
●
本機およびKCA-S220Aには1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英数字のみです。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p33)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをベン先などで押してください。



リセットボタン

●
リセットボタンを押す前にUSBデバイスを取り外してください。USBデバイスを接続したままリセットボタンを押すと、USBデバイスのデータが破損する場合があります。USBデバイスの取り外しかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p14)を参照してください。

●
リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDが取り出せない。
- CDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに“AUX EXT”と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに“AUX EXT”と表示される。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

メディアの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いには記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



CDの取り出しかた

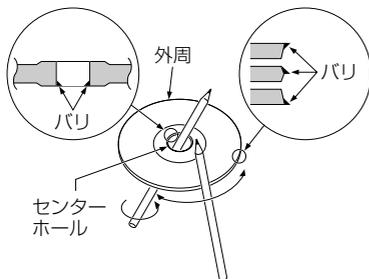
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。

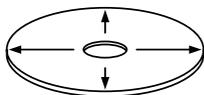
“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CDのお手入れ

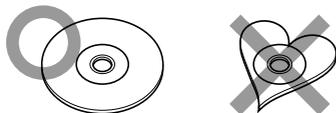
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

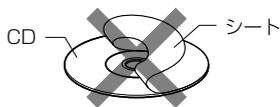
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

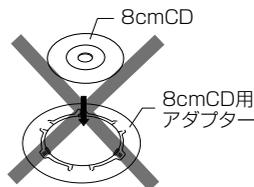
レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

CD用アクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。

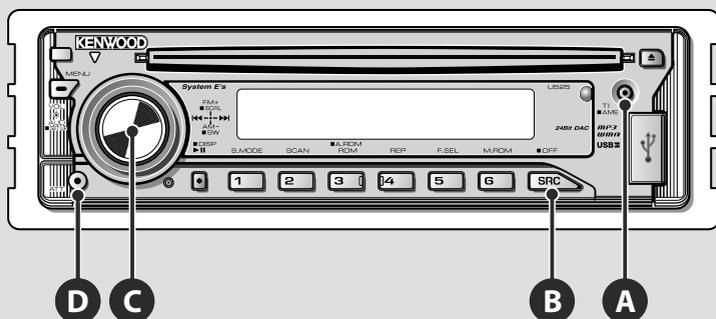


8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



Basic Operation

共通操作



B 電源をオン/オフします

キーを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

C 音量を調整します



D 音量を素早く下げます

キーを押すと、音量が小さくなります(アッテネーター)。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。



- アッテネーターの動作中にはATTインジケーターが点滅します。

A 交通情報を聴きます

キーを押すと、交通情報を受信します。
もう一度押すと、元のソースに戻ります。



- ポリュームノブCを左右に動かすと、交通情報の周波数(1620kHz/1629kHz/522kHz)を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブCで音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。

時計の調整について

時計の調整はメニューで行います。
詳しくは「メニュー設定」(p28)をご覧ください。



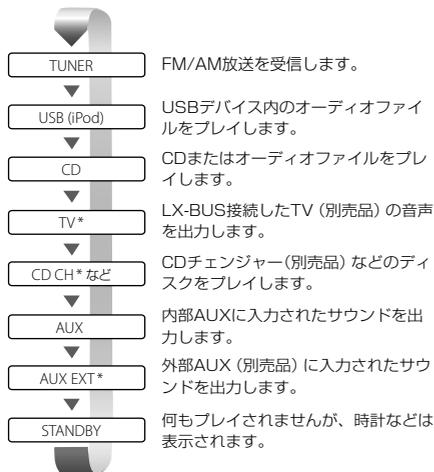
注意

安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

B

ソースを切り替えます

キーを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



- *で示したソースは別売品です。
-  キー  を押しても、挿入されていないソース (CDなど) や接続していないソース (CDチェンジャーなど) など使用できないソースは飛ばされます。
- 内蔵AUXソースに切り替えるには、「メニュー設定」(p28)の“AUX”を“ON”に設定している必要があります。
- プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、フォーマットについては「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。
- CD、またはオーディオファイルのディスクを挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。
- AUX表示やKCA-S220Aを使用したAUX EXT表示は「AUXネームセレクト」(p30)で変えることができます。
- TVユニットなどでは、USB (iPod) ソースはCDソースと認識され、表示や音声案内でもCDソースとして扱われます。
- iPodをKCA-iP200 (別売品) で本機に接続していると、“USB”表示は認識後に“iPod”になり、本機からコントロールが可能となります。iPodとの接続については「iPodの接続」(p42)を参照してください。

C

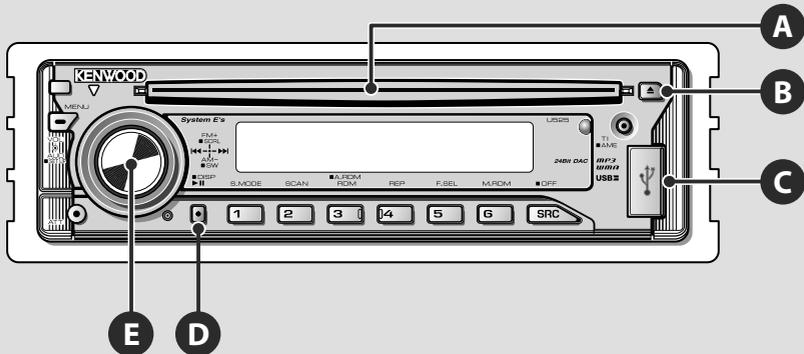
音質などを調整します

設定したいソースにしてからノブを押して調整する項目を選択し、ノブを左右に回して調整します。調整項目は次の順に切り替わります。



- 音質調整は、各種の設定により表示される項目が変わります。また、より詳細に設定することができます。詳しくは「オーディオコントロールの詳細設定」(p24)をご覧ください。
- イコライザーカーブは以下の中から設定します。
 - NATURAL
 - USER
 - ROCK
 - VOCAL
 - EASY
 - DANCE
 - JAZZ
 “USER”は前回調整した“BAS L”、“MID L”および“TRE L”の値が呼び出されます。

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



A B

CDをプレイします

CD挿入口**A**にCDを挿入すると、差し込んだCDがプレイされます。

CDを取り出します

イジェクトキー**B**を押す。



- CDは水平に挿入してください。
- CDが入っているときには、**IN**インジケータが点灯します。
- CDがすでに入っているときには、**[SRC]** キーでCDモードに切り替えるとプレイされます。
- 通常のCDのほかにも、オーディオファイルが収録されたディスクをプレイできます。
プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、ディスクフォーマットについては、「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。
- その他、CDやオーディオファイルが収録されたCD-Rなどのいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p17)をご覧ください。

D

プレイ/ポーズします

プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

E

早送り/早戻しします

ボリュームノブ**E**を右に押し続けると、押ししている間、曲が早送りされます。また、ボリュームノブ**E**を左に押し続けると、押ししている間、早戻しされます。



- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音が出ません。

E

プレイする曲を選びます

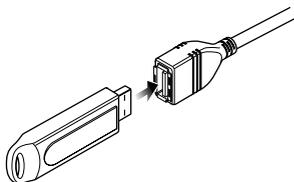
ボリュームノブ**E**を右に動かすと、次の曲がプレイされます。

ボリュームノブ**E**を左に動かすと、プレイ中の曲の先頭に戻るか、前の曲がプレイされます。

B C

USBデバイス内のオーディオファイルをプレイします

USBメモリーやiPodなどのUSBデバイスを④に接続すると、USBデバイスのプレイが始まります。

**USBデバイスを取り外します**

イジェクトキー④を2秒押ししてリムーブモードにしてから、USBデバイスを取り外します。リムーブモードになると「REMOVE」と表示されます。

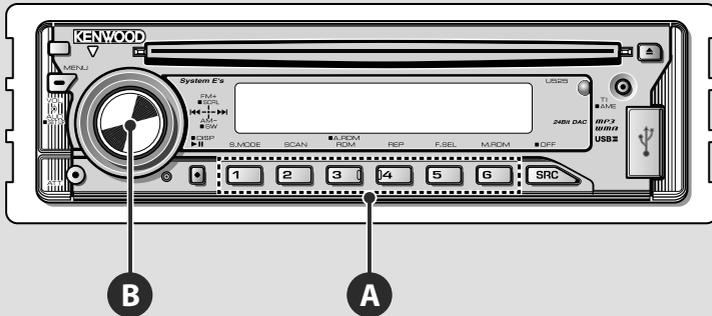


- リムーブモードにしないでUSBデバイスを取り外すと、USBデバイス内のデータが破損する場合があります。



- iPodを接続するためにはKCA-iP200（別売品）が必要です。そのほかのUSBメモリーなどは、USBケーブル（付属品）を介して接続してください。
- USBデバイスを接続していないときに、USBソースにすると、「NO DEVICE」と表示されます。
- プレイをストップした後に再びプレイすると、ストップしたところからプレイを再開します。USBデバイスを取り外した場合でも、USBデバイスの内容が変わっていなければ、ストップしたところからプレイを再開します。
- プレイできるオーディオファイルの種類、使用できるUSBデバイスの種類などの詳細については、「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。
- その他、オーディオファイルのいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p17)をご覧ください。
- USBデバイスのコネクタは奥まで確実に差し込んでください。
- メモリーカードをマルチカードリーダーを使用して接続しているときは、プレイするメモリーカードの切り替えができます。詳しくは「ドライブセレクト」(p17)をご覧ください。
- USB端子に何も接続していないときは、カバーを閉めてください。

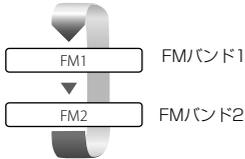
ラジオを聴く



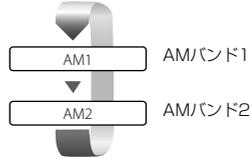
B

バンドを切り替えます

ボリュームノブ **B** を上に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



ボリュームノブ **B** を下に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- ステレオ受信中は **ST** インジケーターが点灯します。
- その他、チューナーのいろいろなプレイ方法については、「Radio Listening」(p22)をご覧ください。

B

自動選局します

ボリュームノブ **B** を左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に選局します。



- ボリュームノブ **B** を左右に動かしたときの選局の方法は、チューニングモードによって異なります。詳しくは「チューニングモード」(p23)をご覧ください。

A

プリセット局を選局します

キーを押すと、押したキーにメモリーされている放送局を選局します。



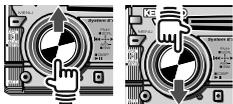
- プリセットチューニングは、あらかじめ各キーに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p22)または「マニュアルメモリー」(p22)をご覧ください。

CDやオーディオファイル (CD-ROM/R/RW、USBデバイス、およびiPod)、KSF (HDX-700/710) を本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。

- CDとオーディオファイルの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」(p14)をご覧ください。

ディスク/フォルダ/タイトルサーチ (オーディオファイル、ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスク、またはフォルダを選択します。

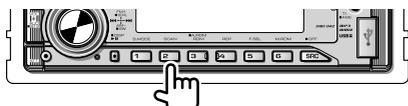


- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチは、オーディオファイル/KSFのプレイ中に使用できます。

スキャンプレイ

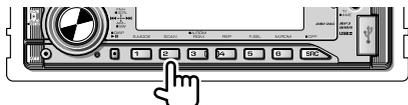
ディスクやフォルダ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



▶ TRAC SCN / FILE SCN / SCAN ON

2 聴きたい曲のところへ...



スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。

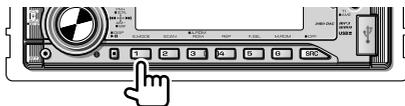


- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- iPodをプレイ中は使用できません。

ドライブセレクト (オーディオファイルメディアのみ)

マルチカードリーダーにセットされているメモリーカードを選択します。

1 セレクトモードにします

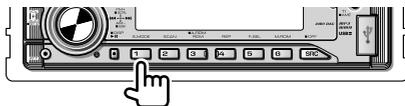


プレイが一時停止します。

2 デバイスを選択します



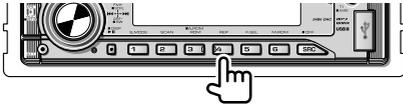
3 セレクトモードを終了して、プレイを再開します



- 最大4スロットのマルチカードリーダーに対応しています。ただし、複合型のカードリーダー(マウスにカードリーダーが付いている機器など)では使用できない場合があります。
- マルチカードリーダーを接続しているときに、メモリーカードを挿入しても認識されません。リムーブモードにしてカードリーダーを外してから、メモリーカードを挿入したカードリーダーを再度接続してください。リムーブモードについては「USBデバイスを取り外します」(p15)を参照してください。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次の順でオン/オフされます。

CDプレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

オーディオファイルプレイ中

表示	状態
FILE REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン (iPodをプレイ中は選択できません)
REP OFF	リピートプレイオフ

ディスクチェンジャープレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
DISC REP	ディスクリピートオン
REP OFF	リピートプレイオフ

ランダムプレイ

プレイ中のCD、iPodのブラウズ項目内、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。



- ボリュームノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
KSFプレイ中は、ボリュームノブを上下に動かすと、次の曲をランダムに選択します。

オールランダムプレイ (オーディオファイルのみ)

オーディオファイルが入っているメディア内の曲をランダムな順でプレイします。



オールランダムプレイを中止するときは...



- ボリュームノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- iPodをプレイ中は使用できません。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

ディスクチェンジャーにセットされているディスク
の中の曲をランダムな順でプレイします。



▶ MGZN RDM

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/
オフされます。



- ポリウムノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択
します。

タイトル/テキストスクロール

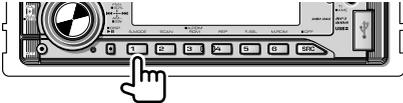
タイトル/テキストをスクロールさせます。



- スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。
 - ディスクタイトル/トラックタイトル
 - ディスクテキスト/トラックテキスト
 - フォルダ名
 - 曲名
 - アルバム名
 - ファイル名
 - アーティスト名

iPodブラウズ項目選択 (iPodプレイ時のみ)

iPodの「ミュージック」メニュー項目を選択しま
す。



次の順で切り替わります。

ブラウズ項目	表示
プレイリスト	PLAYLIST
アーティスト	ARTISTS
アルバム	ALBUMS
ポッドキャスト	PODCASTS
ジャンル	GENRES
コンポーザー (作曲者)	COMPOSER

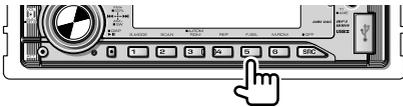


- データがないブラウズ項目は、表示されない場合がありま
す。

ファイルセレクト1 (iPod以外のオーディオファイルプレイ時のみ)

聴きたい曲を、メディアの階層を追って探します。

1 ファイルセレクト1モードにします



▶ F-SEL1

1回押します。

2 フォルダを選択します

同一階層でフォルダを選択するときは



下の階層に移動するときは



上の階層に移動するときは



聴きたい曲が入っているフォルダを選択します。

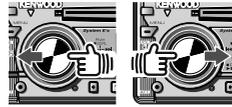
3 フォルダを決定します



決定したフォルダ内の曲が表示されます。

4 曲を選択します

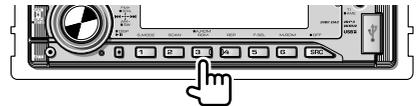
曲の移動をするときは



フォルダの選択に戻るときは



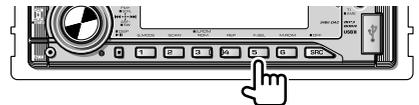
最初のフォルダに戻るときは…



5 選択した曲をプレイする



ファイルセレクト1を中止するときは…



2回押します。

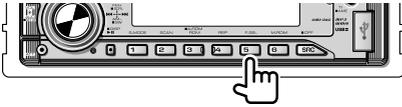


- ファイルセレクト中もタイトル表示のスクロールが可能です。詳しくは「タイトル/テキストスクロール」(p19)を参照してください。

ファイルセレクト2 (iPod以外のオーディオファイルプレイ時のみ)

聴きたい曲を、フォルダの順番を追って探します。

1 ファイルセレクト2モードにします



▶ F-SEL2

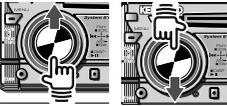
2回押します。

2 フォルダを選択します



聴きたい曲が入っているフォルダを選択します。

表示中のフォルダが入っているフォルダ名を表示するには…



上に押すたびに1階層上のフォルダ名を表示します。上の階層のフォルダ名を表示しているときは「*」が表示されます。

下に押すと、表示が1階層戻ります。

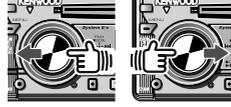
3 フォルダを決定します



決定したフォルダ内の曲が表示されます。

4 曲を選択します

曲の移動をするときは



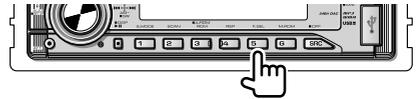
フォルダの選択に戻るときは



5 選択した曲をプレイする



ファイルセレクト2を中止するときには…



1回押します。



- ファイルセレクト中もタイトル表示のスクロールが可能です。詳しくは「タイトル/テキストスクロール」(p19)を参照してください。

Radio Listening

FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。



- FM/AM放送の基本的な聴きかたは「ラジオを聴く」(p16)をご覧ください。

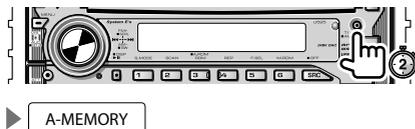
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 オートメモリーを開始します

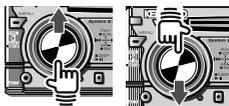


- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

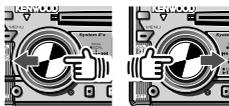
マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

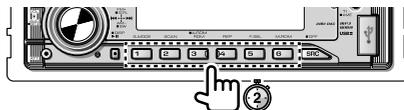
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするキー(1~6のいずれか)を選びます



▶ FM1-78.0 3 ch

チャンネルナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。



- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。

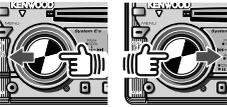
1 メニューモードにします



2 チューニングモードの項目を選択します



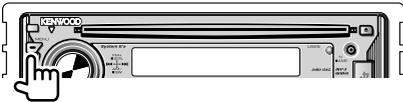
3 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	設定内容
AUTO 1	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
AUTO 2	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
MANUAL	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

4 メニューモードを終了します



Audio Control

音響効果などを設定します。

オーディオコントロールの詳細設定

オーディオコントロールでは次の項目を設定できます。

表示	設定内容
SW L	サブウーファアの音量を調整します。
NATURALなど	音楽に合わせてイコライザーカーブを設定します。
BAS L	低音域の音量を調整します。
MID L	中音域の音量を調整します。
TRE L	高音域の音量を調整します。
BAL	左右の音量バランスを調整します。
FAD	前後の音量バランスを調整します。

(通常の表示)



- 設定方法は「音質などを調整します」(p13)をご覧ください。
- 低音域、中音域、高音域の設定は、ソースごとに設定できます。
- “SW L”は、メニュー設定で“SWPRE”が“SW”(サブウーファア)に設定され、さらにサブウーファア出力がオンに設定されているときに設定できます。“SWPRE”の設定については「メニュー設定」(p28)、サブウーファア出力については「サブウーファア出力コントロール」(p25)をご覧ください。

イコライザーカーブ設定中は効果の調整ができません。



表示	設定内容
H	イコライザー効果大
L	イコライザー効果小

“NATURAL”および“USER”に設定中は調整できません。

さらに、低音、中音、高音の調整をきめ細かく設定できます。

1 詳細設定を開始します



低音域、中音域、高音域を調整中に、“BAS F”、“MID F”または“TRE”と表示されるまで押し続けます。

2 調整する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

“BAS L”で押したとき

表示	設定内容
BAS F	調整する低音域の中心周波数
BAS Q	低音クオリティファクター
B EX	低音中心周波数伸張

“MID L”で押したとき

表示	設定内容
MID F	調整する中音域の中心周波数
MID Q	中音クオリティファクター

“TRE L”で押したとき

表示	設定内容
TRE	調整する高音域の中心周波数

3 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
BAS F	40/50/60/70/80/100/120/ 150 (Hz)
BAS Q	1.00/1.25/1.50/2.00
B EX	OFF/ON
MID F	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MID Q	1.0/2.0
TRE	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

4 詳細設定を終了します



- 各調整項目については「Help? Term」(p34)をご覧ください。

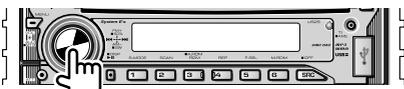
オーディオセットアップ

音量オフセットやサブウーファー設置時のクロスオーバー周波数などを設定します。

1 オーディオセットアップを開始します



2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

項目	設定内容
HPF	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPR	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
PHAS	サブウーファーの位相を設定します。
V-OFF	各ソースごとの、音量の差を調整します。
N-VOL	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。

3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF/HPR	THRU (フィルターオフ) / 80/100/120/150/180 (Hz)
LPF	60/80/120 (Hz) / THRU (フィルターオフ)
PHAS	Reverse (180°) /Normal (0°)
V-OFF	0 ~ -8 (AUX: -8 ~ +8)
N-VOL	0 ~ 25

4 オーディオセットアップを終了します



- “V-OFF”でソースごとに音量オフセットを設定しておく、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “LPF”および“PHAS”は、メニュー設定で“SWPRE”が“SW” (サブウーファー) に設定され、さらにサブウーファー出力がオンに設定されているときに設定できます。“SWPRE”の設定については「メニュー設定」(p28)、サブウーファー出力については「サブウーファー出力コントロール」(p25)をご覧ください。
- “PHAS”は“LPF”が“THRU”に設定されているときは調整できません。
- “N-VOL”は、メニュー設定で“GUID”が“INT”に設定されているときに設定できます。“GUID”の設定については「メニュー設定」(p28)をご覧ください。

サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



SW ON (サブウーファー
オン)
SW OFF (サブウーファー
オフ)

“SW ON”または“SW OFF”が表示されるまで押し続けます。



- サブウーファーのオン/オフは、「メニュー設定」(p28)の“SWPRE”項目が“SW” (サブウーファー) に設定されているときに設定できます。

Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定をします。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

1 ディスプレイセレクトモードにします



2 表示を選択します



左右に押すたびに、次の順に切り替わります。

FM/AM受信、交通情報受信時

表示	設定内容
FREQ	周波数
CLOCK	時計

CDプレイ/ディスクチェンジャープレイ時

表示	設定内容
D-TITLE	ディスクタイトル
T-TITLE	トラックタイトル
P-TIME	トラック演奏時間&トラック番号
CLOCK	時計

オーディオファイルプレイ時

表示	設定内容
TITLE	曲名&アーティスト名
ALBUM	アルバム名&アーティスト名
FOLDER	フォルダ名
FILE	ファイル名
P-TIME	ファイル演奏時間 & 曲番号
CLOCK	時計

* WAVファイルのプレイ中は、アルバム名、アーティスト名、および曲名は表示できません。

STANDBY/AUX時

表示	設定内容
SRC NAME	ソースネーム
CLOCK	時計

3 ディスプレイセレクトモードを終了します



- 時計表示に設定すると、すべてのソースで時計表示に設定されます。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- 曲の番号は3桁まで表示されます。
- iPodプレイ中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のブラウズ項目に沿った名称が表示されます。

操作パネルの取り外し

操作パネルを取り外します。

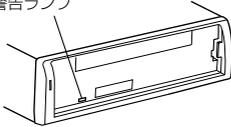


パネルのロックが解除されて、パネルが取り外せます。



- パネルを取り外すと電源がオフになります。
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。パネルを取り外した後は、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所
- 本機はDSI (ディスプレイシステムインジケーター) 機能を採用しています。「メニュー設定」(28)の「DSI」項目を「ON」にしておくとパネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

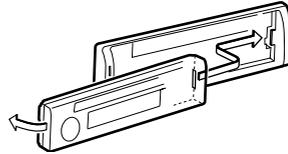
盗難防止用警告ランプ



操作パネルの取り付け

操作パネルを取り付けます。

1 操作パネルを本体に合わせます



パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせます。

2 操作パネルを取り付けます

パネル左側を本体に合わせてロックします。パネルが取り付け、本機が使用可能となります。

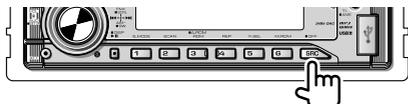
Menu Control

各種の機能を設定します。

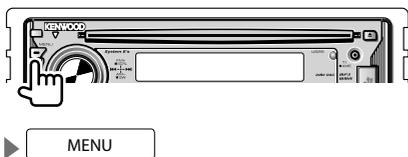
メニュー設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

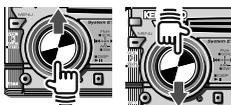
1 ソースを切り替えます



2 メニューモードにします

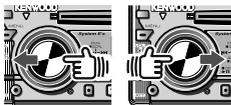


3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します



- 参照ページ番号が記載されている項目の設定方法は、それぞれのページをご覧ください。
- 各項目の詳細については、「Help? Term」(p34)をご覧ください。

表示	設定	設定概要	ソース
BEEP	ON*/OFF	操作音のオン/オフを設定します。	SB
CLK ADJ	p29参照	時刻を設定します。	SB
DSI	ON*/OFF	盗難防止用警告ランプのオン/オフを設定します。	SB
KEY	GRN*/RED	ボタンのイルミネーション色を設定します。	SB
DISP	ON*/OFF	操作しないときは、ディスプレイを消します。	
DIM	AUTO*/OFF	車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさを減光します。	SB
SWPRE	SW/R*	プリアウトの出力を設定します。	SB
SPRM	ON*/OFF	Supreme機能のオン/オフを設定します。	AF
AUTO1	AUTO1*/AUTO2*/MANUAL p23参照	チューニングモードを設定します。	Tuner
MONO	OFF*/ON p35参照	モノラルで受信します。	Tuner
NAME SET	p30参照	AUXソースに名前を付けます。	AUX
SCL	AUTO*/MANU	テキストスクロールを設定します。	
GUID	OFF*/ATT/INT	接続されているナビの音声ガイドの出力を設定します。	SB
AUX	OFF*/ON	ソース選択時に内蔵AUXを表示するか設定します。	SB
CD READ	READ1*/READ2	CDの読み取りモードを設定します。	SB
F/W VER	—	本機のファームウェアバージョンを表示します。	SB

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB : スタンバイ中に設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

AF : オーディオファイルソース中(iPodを除く)に設定できます。

AUX : AUXソース中に設定できます。



- “MONO” はFM放送の受信中に表示されます。
- “AUX” はiPodを接続中は設定できません。
- iPodを接続中は、“GUID”を“INT”には設定できません。

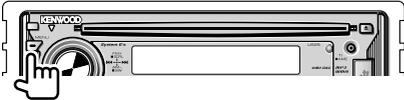
5 メニューモードを終了します



時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 メニューモードにします

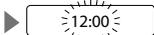


2 時刻合わせの項目を選択します



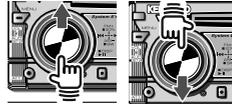
CLK ADJ

3 時刻合わせを開始します

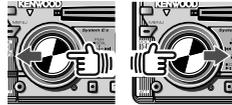


時計表示になるまで押し続けます。

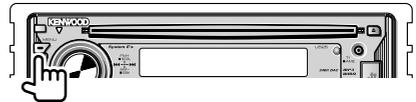
4 “時”を調整します



5 “分”を調整します



6 時刻合わせを終了します



- 時計は12時間制です。
- “分”を調整したときには、時刻合わせ終了時に00秒からスタートします。

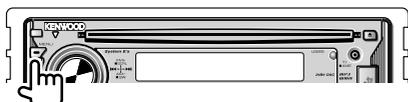
AUXネームセレクト

ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前（AUXネーム）を設定します。

1 AUXソースに切り替えます



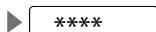
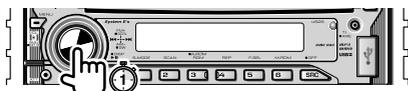
2 メニューモードにします



3 ネームプリセットの項目を選択します

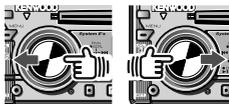


4 AUXネーム選択を開始します



現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

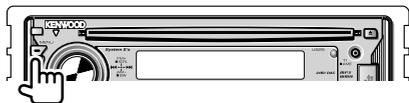
5 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

表示
AUX/AUX EXT
DVD
PORTABLE
GAME
VIDEO
TV

6 AUXネーム選択を終了します



- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。
- AUXネームを設定できるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション、HDX-700やHDX-710などが接続されているときに、本機からTVのコントロールをすることができます。

チャンネル選択

受信するTVチャンネルを選択します。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。

詳しくは、TVモニター取扱説明書を参照してください。

バンド/ビデオ切り替え

TV放送バンドとビデオ入力を切り替えます。



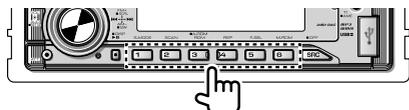
動かすたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

プリセットチューニング

1 バンドを選びます



2 呼び出すプリセットナンバーを選びます



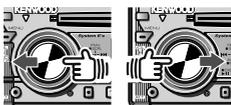
選択したプリセットナンバーの放送局を呼び出します。

マニュアルメモリー

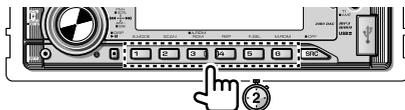
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするキー（1～6のいずれか）を選びます



▶ TV1-8ch 3CH

チャンネルナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

音声多重切り替え

音声多重放送のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



動かすたびに、メイン音声とサブ音声に切り替わります。

オーディオファイル

以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma), WAV (.wav)

プレイできるディスクメディア

CD-R, CD-RW, CD-ROM

プレイできるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name

プレイできるUSBデバイス

USBマストレージクラス、KCA-iP200で接続されたiPod

プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット

FAT16, FAT32

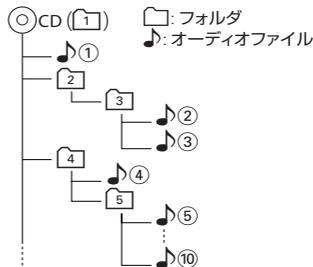
上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。



- USBデバイスやiPodを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- iPodをKCA-iP200で本機に接続していると、「USB」表示は認識後に「iPod」になり、本機からコントロールが可能になります。(本書で断りの無い限り「iPod」と呼んでいるのはKCA-iP200で接続されたiPodを指します。) KCA-iP200に接続可能なiPodはiPod nanoとiPod with videoです。(詳しくはカタログをご覧ください。) なお、iPodに付属のケーブルで本機に接続しているときは、iPodは通常のUSBデバイスとして認識されます。
- iPodを接続してプレイすると、最初はiPodで接続していた曲から始まります。この状態のときは「RESUMING」と表示されます。タイトルなどを切り替えると、ブラウズ項目が「PLAYLIST」に切り替わり曲のタイトルなどが表示されます。
- iPodを接続している間は、iPodに「KENWOOD」と表示され、iPodの操作はできません。
- USBハブを介してUSBデバイスを認識させることはできません。
- USBデバイスの詳細な対応機器については、www.kenwood.com/usb/をご覧ください。

オーディオファイルのプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofile/で公開しています。オンラインマニュアルには、本書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。本書とあわせて必ずお読みください。

共通

- ?** チューナーの感度が悪い
- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
 - ➡ アンテナを十分に伸ばしてください。
-
- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
 - ➡ 「接続」(p40)を参照して正しく接続し直してください。
-
- ✓ アンテナ入力がきちんと接続されていない。
 - ➡ アンテナ入力を確実に接続してください。

ミュージックディスク

- ?** CDやオーディオファイルをプレイできない
- ✓ CDやオーディオファイルディスクが異常に汚れている。
 - ➡ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

オーディオファイル

- ?** オーディオファイルがプレイできない
- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
 - ➡ 「メディアの取り扱い」(p10)を見て、ディスクをクリーニングしてください。
-
- ?** 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない
- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
 - ➡ —
-
- ?** 曲がスキップする
- ✓ 対応していないオーディオファイルをプレイした。
 - ➡ www.kenwood.com/audiofile/を参照して、本機でプレイできるオーディオファイルに変換してください。

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。

MP3 (エムピーシー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。

WAV (ウェーブ)

米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データフォーマットです。Windowsでは標準の音声ファイル形式となっています。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p32)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406など)、マルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

LX BUS TVモニター (エルエックスバステレビモニター)

外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム(HDX-710/700)です。

KSF (ケイエスエフ)

外部接続された別売品のHDX-710/700などのハードディスクに記録されている音楽ファイルです。

オーディオコントロール

SW L (サブウーファー音量)

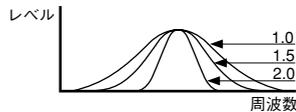
サブウーファーの音量を調整します。

BAS F/MID F/TRE (バスフリケンシ/ミドルフリケンシ/トレブルフリケンシ)

低音、中音、高音を調整する周波数(中心周波数)を設定します。

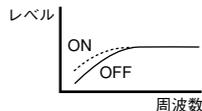
BAS Q/MID Q (バスクオリティーファクタ/ミドルクオリティーファクタ)

低音と中音の調整スロープを設定します。値が大きくなるほどスロープの傾斜が急になります。



B EX (バスエクステンデッド)

“ON”に設定すると、低音中心周波数を低域側に約20%伸びた状態にします。



HPF (ハイパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも低い成分をカットします。プリアウトをサブウーファー用に使用するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“THRU”に設定すると、この機能をオフにできます。本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー(HPF)とリアスピーカー(HPR)に独立して設定できます。

LPF (ローパスフィルター)

設定された周波数(カットオフ周波数)よりも高い成分をカットします。プリアウトをサブウーファー用に使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“THRU”に設定すると、この機能をオフにできます。

PHAS (サブウーファーフェイズ)

サブウーファーの位相(正相/逆相)を設定します。

V-OFF (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。これにより、ソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。

N-VOL (ナビボリューム)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の音量を設定できます。

MENU

MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

NAME SET (ネームセット)

AUXソースに切り替えたときの表示を設定します。

SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、ファイルネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“AUTO”に設定しておくでスクロール表示を繰り返し行い、“MANU”に設定しておくで表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

AUTO 1： 放送局を自動的に見つけ出します。

AUTO 2： メモリーされている放送局を順番に受信します。

MANUAL： 1ステップずつ周波数が変わります。

SPRM (サブプリム)

低いビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット（AAC、MP3、またはWMA）別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

なお、高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高音域の音が少ない曲では効果が表れ難い場合があります。

BEEP (ビープ)

キーを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離れたときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビープ音はプリアウトからは出力されません。

CLK ADJ (クロックアジャストメント)

本機内蔵の時計の時刻を合わせます。

SWPRE (スイッチングプリアウト)

プリアウトをリア用出力(“R”)またはサブウーファー用出力(“SW”)に切り替えます。

GUID (ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「接続」(p40)を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。また、“INT”に設定していても、スタンバイ中にはナビ音声は割り込みません。さらにナビ音声は割り込んだときには、ガイド以外の音声は割り込む場合があります。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

CD READ (CDリード)

CDの読み込み方法を設定します。

特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

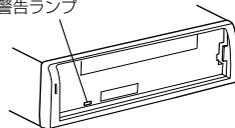
- 1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。
- 2：音楽CDとして強制的にプレイします。

DSI (ディセーブルシステムインジケーター)

盗難防止用警告ランプをオン/オフします。

この機能をオンにしておくと、パネルを取り外したときに、盗難防止用警告ランプが点滅し、盗難防止の手助けになります。

盗難防止用警告ランプ



DISP

“OFF”に設定すると、本機の操作を5秒間行わないときに、ディスプレイを消すことができます。これにより、車両ウィンドウへのディスプレイの写り込みを防ぐことができます。

ただし、各設定モード中などは5秒経過しても、ディスプレイは消えません。

なお、ディスプレイが消えているときは、電源のオン・オフ、音量調整、ソース選択、ディスクの取り出し以外の操作はできません。

DIM (ディマー)

車両のライトスイッチに連動して、ディスプレイの明るさが自動的に切り替わります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

TOC ERR :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。
- ディスクチェンジャーにディスクが入っていません。
- ディスクチェンジャーにトレイが入っていません。

READ ERR :

- 接続しているUSBデバイスに、制限されている数を超えるファイルやフォルダが記録されている。
 - 接続しているUSBデバイスのファイルシステムが破損している。
- ➔ www.kenwood.com/usb/をご覧になり、USBデバイスのファイル、フォルダをコピーしなおしてください。その後もエラー表示が消えない場合は、USBデバイスをフォーマットするか、他のUSBデバイスを使用してください。

EJECT :

- ディスクマガジンがセットされていません。
 - ディスクマガジンが完全に入っていません。
- など

NO DISC :

ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。

NA FILE :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとしてしました。

COPY PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。

NO TRACK :

演奏しようとしたMDに何も録音されていません。

BLANK :

演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていません。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

E-77 :

- 何らかの原因で正常に動作していない。
- ➔ 本機のリセットボタンを押してください。“E-77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

HOLD :

- ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
- ➔ 本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

E-99 :

- 何らかの原因で正常に動作していない。
- ➔ イジェクトキーを押してください。イジェクトキーを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

IN インジケーターが点滅 :

- CDプレーヤーが正常に動作していない。
- ➔ CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

LOAD (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

READING (点滅) :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

PROTECT (点滅) :

- スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。
- ➔ スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。“PROTECT”表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

NO DEVICE :

- USBデバイスが接続されていないときにUSBソースにした。
- ➔ USBデバイスを接続し、再びUSBソースにしてください。

NA DEVICE :

- サポートされていないUSBデバイスを接続した。
- ➔ サポートされているUSBデバイスについては「オーディオファイル」(p32)を参照してください。

NO MUSIC/E-15 :

挿入したCDまたは接続されているUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

USB ERR :

- 接続されているUSBデバイスに不具合が発生した可能性があります。
- ➔ USBデバイスを取り外し、接続しなおしてください。再度同じ表示がされる場合は、他のUSBデバイスをお使いください。

iPod ERR

- iPodとの接続に不具合が発生しています。
- ➔ iPodをKCA-iP200から取り外し、接続しなおしてください。
- ➔ iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

REMOVE (点滅)

USBデバイスがリムーブモードになっています。USBデバイスが安全に取り外せます。

取り付け時のご注意

警告



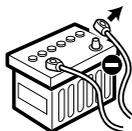
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vアース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

配本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続



実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

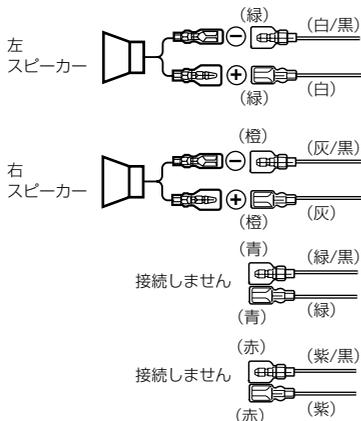
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p9）を押します。



KCA-S220A（別売品）を使ってLX BUS TVモニターを接続する場合

- HDX-710などは、KCA-S220Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「メニュー設定」（p28）の“GUID”項目を“INT”にして、LX BUSケーブルを接続してください。

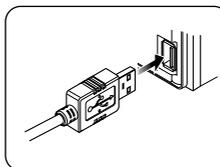
2スピーカー時のスピーカー接続方法



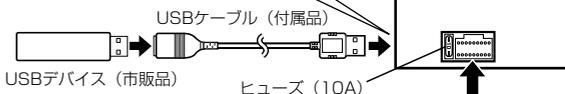
接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



- 別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で“Bユニット”項目を参照してください。



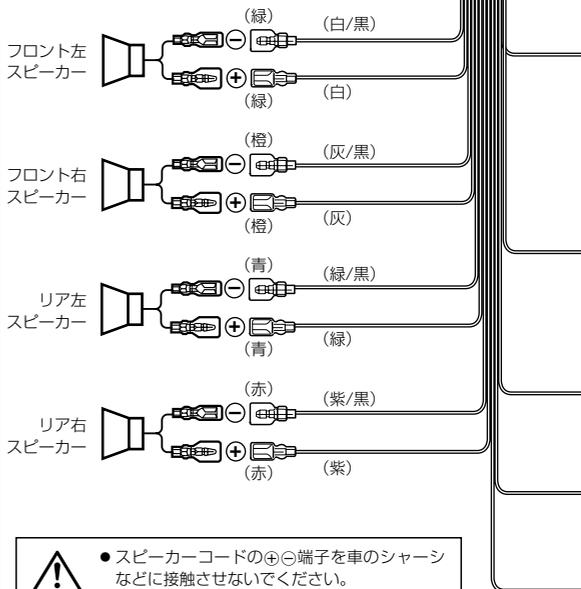
USBケーブルは付属品またはCA-U1EX（別売品）の使用を推奨します。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

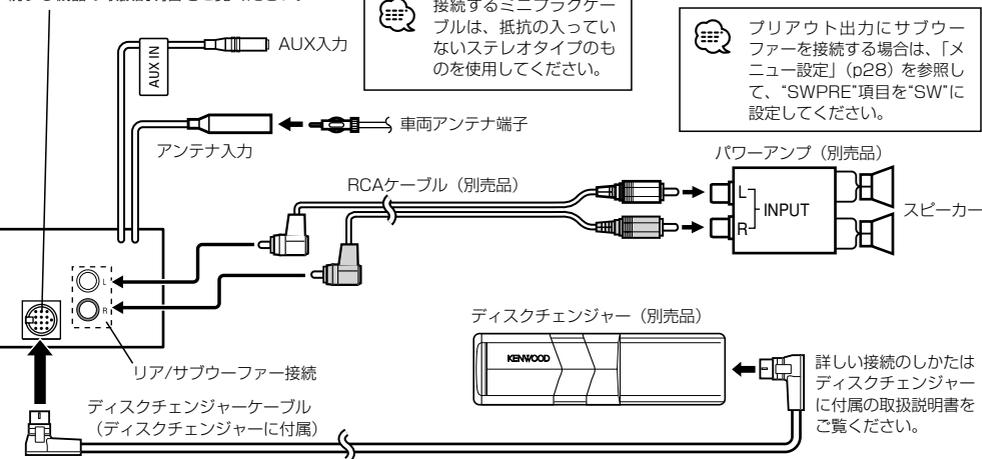
電源ハーネス（付属品）



- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

外部機器接続端子

別売品のディスクチェンジャーやLX-BUS製品などが接続できます。詳しい接続のしかたは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。



ANT CONT
アンテナコントロール (青)

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

P.CONT
パワーコントロール (青/白)

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

MUTE
ミュート入力 (茶)

ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。

注意  ミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「メニュー設定」(p28)を参照して、「GUID」項目を「OFF」に設定してください。

ILLUMI
イルミネーション (橙/白)

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。接続しておくこと、車両のライトスイッチをオンにすると減光されます。

ACC
アクセサリ電源 (赤) ⊕

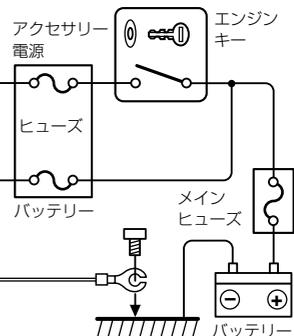
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

BATT
バッテリー電源 (黄) ⊕

メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

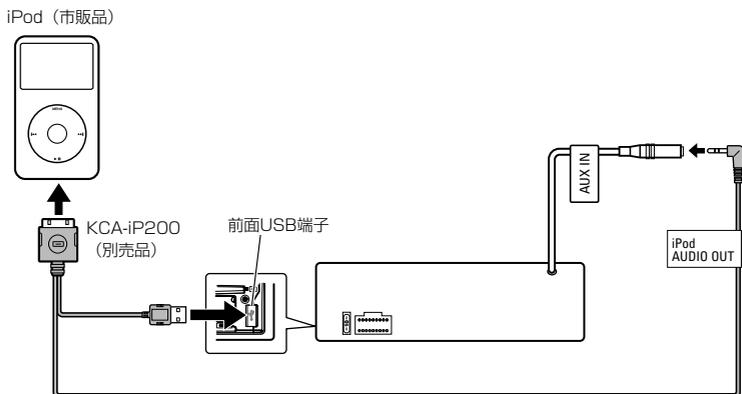
アース (黒) ⊖

車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部) へ接続してください。



iPodの接続

KCA-iP200（別売品）を使用して本機にiPodを接続します。



- iPodの接続時には、AUX入力とUSB端子を使用します。このため、iPod使用時は、これらの端子にほかの機器を接続して使用することはできません。

取り付け

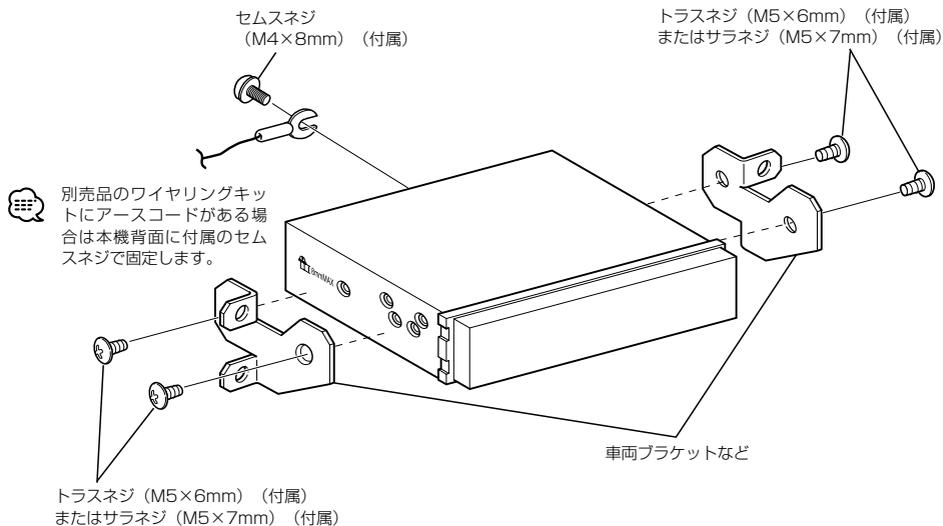
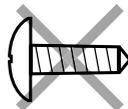
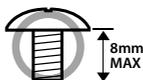
付属のトラスネジ（M5×6mm）またはサラネジ（M5×7mm）を6本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

付属ネジ	個数
 トラスネジ (M5 × 6 mm)	4
 サラネジ (M5 × 7 mm)	4
 セムスネジ (M4 × 8 mm)	1



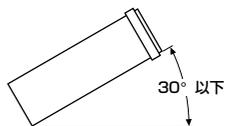
注意

取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



注意

- 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります



- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
- 実用感度 (S/N : 30 dB)
: 9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
- S/N 50 dB感度
: 15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
- 周波数特性 (± 3.0 dB)
: 30 Hz~15 kHz
- S/N比
: 70 dB (MONO)
- 選択度 (± 400 kHz)
: 80 dB以上
- ステレオセパレーション
: 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

- 受信周波数範囲 (周波数ステップ)
: 522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
- 感度
: 28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

- レーザーダイオード
: GaAlAs
- デジタルフィルター (D/A)
: 8倍オーバーサンプリング
- D/Aコンバーター
: 1Bit
- 回転数
: 1000~400 rpm (線速度一定・倍速)
- ワウ& フラッター
: 測定限界以下
- 周波数特性
: 10 Hz~20 kHz (± 1 dB)
- 高調波歪み率
: 0.008 % (1 kHz)
- S/N比
: 110 dB (1 kHz)
- ダイナミックレンジ
: 93 dB
- MP3デコード
: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
- WMAデコード
: Windows Media™ Audio 準拠
- AACデコード
: AAC-LC “.m4a” ファイル
- WAVシグナル
: Linear-PCM

オーディオ部

最大出力

: 50 W × 4

定格出力

: 30 W × 4 (4Ω、1kHz、10%THD以下)

スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

オーディオコントロール

バス : 100 Hz ± 8 dB

ミドル : 1 kHz ± 8 dB

トレブル : 10 kHz ± 8 dB

プリアウトレベル (CD/CD-CH)

: 2500 mV/10 kΩ

プリアウトインピーダンス

: 600 Ω以下

電源部

電源電圧

: 14.4 V (11~16 V)

最大消費電流

: 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W × H × D)

: 178 × 50 × 160 mm

重量

: 1.20 kg

AUX入力

周波数特性

: 20 Hz~20 kHz (±1 dB)

入力最大電圧

: 1200 mV

入力インピーダンス

: 100 kΩ

付属部品

電源ハーネス

: 1本

トラスネジ (M5 × 6 mm)

: 4本

サラネジ (M5 × 7 mm)

: 4本

セムスネジ (M4 × 8 mm)

: 1本

USBケーブル (1 m)

: 1本

USB I/F部

USB規格

: USB 1.1/2.0

ファイルシステム

: FAT16/32

最大供給電流

: 500 mA

MP3デコード

: MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード

: Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード

: AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

WAVシグナル

: Linear-PCM

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114 (一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です)
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。